

認定看護師会からのお便り

2024年9月号



昨年度は認定看護師の活用方法と連携の実際を紹介させていただきました。今年度は、各認定分野の豆知識を紹介したいと思います。

今回は**精神科認定看護師の関原亮平さん**です。

1. 自己紹介

2020年から精神科認定看護師として活動しています。精神科認定看護師は県内に17名登録しており、北信地域では私含め2名が登録しています。

現在の主な活動としては、リエゾンチームの一員としてせん妄や不眠、精神症状に対して病棟看護師と相談しながら支援をしています。また、認知症看護認定看護師と協働しながら認知症ケアに関わったり、がん領域の認定看護師と協働し対象患者のケアを行ったり、訪問看護師と協働し訪問にも行ったりしています。

さらに、医療従事者の精神的なフォローなども行っています。院外においては、様々な施設で従事している福祉関係者に対して精神科疾患についての勉強会や支援者支援などもしています。

2. 豆知識

・「聞く」と「聴く」

国語辞典で調べると、「聞く」は音や声を耳に感じ認める意、「聴く」は聞こえるものの内容を理解しようと思って進んでいく意、とされています。

医療現場では、「傾聴」という言葉がしばしば使われています。これも辞書で調べると、耳を傾けて一心にきくこと。熱心にきくこと。とされています。

傾聴は、相手のいうことを否定せず、耳も心も傾けて相手の話を聴くことであり、経産省からは職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事するうえで必要な能力として提言されています。

改めて「聴く」や「傾聴」ということを意識することで、新たな発見や看護の道が開けるのかもしれません。

